



校長通信 Morifun Vol.4

モリフ生の皆さんこんにちは。「Morifun」第4号はこの話題から。

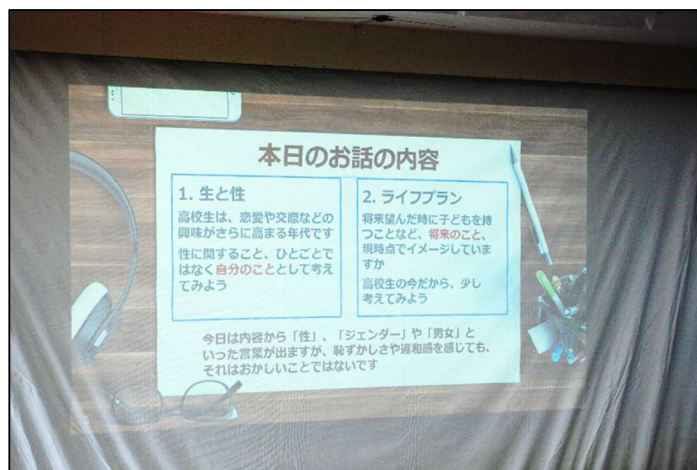
令和7年度 思春期講座 「高校生だから考える『生と性』」

5月20日(火)5校時に1年生を対象に「思春期講座」が開催されました。講師に岩手県立大学看護学部准教授のアンガホッフア司寿子先生をお招きして、思春期の「性」に関わる様々な問題や悩みを「自分ごと」として考える貴重な機会を持ちました。



「私」という一人の人間が今ここに存在するには、私の父母、その父母、そのまた父母…という本当にたくさんの人たちの「生」があったおかげということ、「性」に関して「恥ずかしさ」や「違和感」を持つのはおかしいことではないということ、将来のライフプランについて高校生の今からほんの少しでもイメージしてみようということ等、普段友人同士はもちろん家族との間でもめったに話さないようなことを真剣に考える良いきっかけになったと思います(『デートDV』等は『自分には関係ない』と言ってられない問題ですね)。生徒の皆さんは、「性」を正しく理解することがより良い「生」につながるということを学んだと思います。このことを自分の普段の生活に

活かしてほしいですね。



続いての話題はこちら。

令和7年度 みだしなみセミナー 「普段の身だしなみが進路に結びつく」

6月3日(火)5校時に全校生徒を対象に「みだしなみセミナー」が開催されました。昨年から始まったこのセミナーは、生徒会執行部と先生方が校則の見直しを図ったのを機に、モリフ生の整容を整えていこうという活動の一環として開催されたものです。本校の制服を扱っていただい

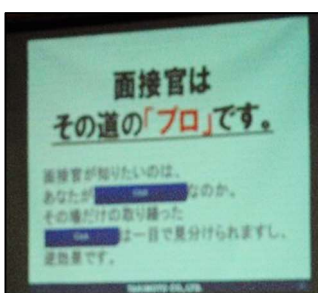
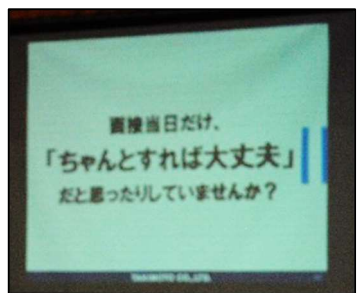
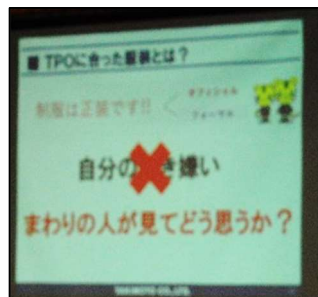
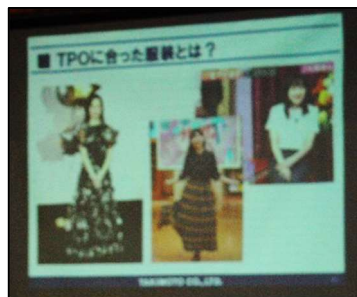


いる瀧本株式会社から制服デザイナーの新崎詠子さんを講師にお招きして、制服に込められた「思い」をお話しいただきました。

新崎さんの「(進学や就職の)面接当日だけちゃんとすれば大丈夫と思っていませんか?」「面接官はその道のプロです」「その場だけの取りつくりった服装は一発で見分けられます」というお話から、「制服や整容を整えることは進路希望の実現に直結する」ということを、生徒の皆さんは学んだと思います。さあ、ここからが人生の分かれ道です。自分の進路希望達成に向けて普段から整容をきちんとするか、それとも進路希望達成より好きな格



自分の進路希望達成に向けて普段から整容をきちんとするか、それとも進路希望達成より好きな格



好をする方を選ぶか。皆さんがより良い道を歩まれることを願います。



次はこの話題です。

盛岡大学出前講義

「あなたの未来を左右する力

それが非認知能力！？」

今年度第2回の盛岡大学出前講義が6月10日（火）5校時に開催され、1年高大コース、2年進学コースの生徒さんが受講しました。

講師は盛岡大学文学部児童教育学科准教授の吉田英彰先生。テーマは「非認知能力」という、



生徒の皆さんはあまり聞いたことのないお話しだったかも知れませんが、後半で視聴した「盛大さんさ」が昨年のさんさパレードで最優秀賞を獲得するまでの軌跡を追った動画には、私も鳥肌が立つほど

感動しました。



後日、吉田先生からメールをいただいたので抜粋して紹介します。

「お世話になっております。盛岡大学文学部児童教育学科准教授の吉田英彰です。遠くから大きな声で挨拶をする学生さんがいました。会場に入ってから、自分から挨拶をしてくれた学生さんがいました。とてもうれしかったです。

今回は、スポーツや勉強、仕事で目標を達成するためには、やり抜く力、自己効力感、セルフコントロール、成長マインドセット、社会的スキルを伸ばしていくことが大切だという話をさせていただきました。附属高校のみなさんには、それぞれの描く憧れをぜひ実現していただきたいです。

私は、非認知能力の一つである『レジリエンス』～逆境や困難、ストレスのある状況に直面したときに、それを乗り越え、適応し、回復する力～の研究に取り組んでいます。」

「レジリエンス」。これも皆さんには耳慣れない言葉かもしれませんが、テストの点数や偏差値といった「数字で表される力」以上に、この「レジリエンス」こそが今私たちには必要な「力」なのではないでしょうか。

吉田先生からは「モリフ生のレジリエンス」に関するアンケート調査の依頼がありました。もし実現したら、生徒の皆さんにはぜひご協力をお願いしたいと思います。

吉田先生、ありがとうございました。